

防 災

総社市防災会議を開催

問い合わせ 危機管理室 (☎02-8599)

災害に備え地域防災計画を改訂

2月15日、市保健センターで防災会議を開催。岡山河川事務所や備中県民局、自主防災組織などの代表者が出席し、総社市地域防災計画の改訂について話し合われました。

主な改訂内容は、次のとおりです。



市長は、「市民を守るための大切な計画。市としては今後も、他自治体との災害時相互応援協定の締結などを進めていく」と述べた

- 自主防災組織と連携し、地区防災計画の作成を推進する
  - ダムの事前放流時、河川や周辺施設利用者への注意・避難喚起を行う
  - 指定避難所開設に合わせ、公共施設などにペツト避難所を開設する
  - 感染症対策として、分散避難や避難所での衛生管理を徹底する
  - 南海トラフ地震が発生した場合、認定特定非営利活動法人AMDAや岡山県立大学と連携し、被災地へ医療チームの派遣や支援物資の輸送を行う
- 総社市地域防災計画は、風水害や地震に関する対策を定めたもの。平成14年の作成以降、定期的に見直しを行っています。

令和2年7月豪雨被害の人吉市へ  
総社デニムマスクを贈呈



贈呈式に出席した人吉市の松岡隼人市長、片岡市長、熊本市の大西一史市長(写真左から)

令和2年7月豪雨災害で被害を受けた熊本県人吉市へ、総社市民から寄せられた支援金を活用して総社デニムマスク628枚を贈呈。3月9日、オンラインで贈呈式が行われました。

人吉市へは、同災害後に熊本市と連携して支援を実施。物資を提供したほか、計15人の総社市職員が1カ月間避難所運営を行いました。

問い合わせ 危機管理室 (☎02-8599)

緊急用サイレンを設置  
市内8カ所の整備が完了

災害時に危険を知らせる地区緊急用サイレンを、秦地区福谷に2カ所設置。昨年度取り付けた昭和地区の6カ所と合わせ、8カ所の整備が完了しました。

サイレンは、西日本豪雨後に策定した総社市復興計画に基づき、新たな情報伝達手段の構築を目的に整備しました。設置場所は、以下のとおりです。

- ①影旧消防団ホース乾燥塔
  - ②昭和公民館駐車場
  - ③市消防団日美分団第3部ホース乾燥塔
  - ④市消防団下倉分団第1部ホース乾燥塔
  - ⑤さくばらホーム南(防火水槽用地)
  - ⑥市消防団富山分団第1部ホース乾燥塔
  - ⑦福谷五軒屋
  - ⑧福谷大谷旧消防機庫東
- 問い合わせ 危機管理室 (☎02-8599)

納付書のバーコードを読み込むだけ！  
スマホアプリで  
市税などが納付可能になりました



4月から、市税などの納付がスマートフォン決済アプリでできるようになりました。納付書のバーコードを読み取ることで、24時間365日どこでもキャッシュレス決済による納付ができます。利用には、以下の納付ができるスマートフォン決済アプリの登録が必要です。便利で確実な口座振替も引き続きご利用ください。

納付ができるスマートフォン決済アプリ

LINE Pay PayPay 支払秘書 PayB

■納付できる税目など・問い合わせ

軽自動車税種別割	税務課税政係	(☎02-8238)
市県民税・国民健康保険税(共に普通徴収)	税務課市民税係	(☎02-8234)
固定資産税・都市計画税	税務課資産税係	(☎02-8236)
納税に関すること	税務課納税係	(☎02-8239)
介護保険料(普通徴収)	長寿介護課介護保険係	(☎02-8369)
後期高齢者医療保険料(普通徴収)	健康医療課保険年金係	(☎02-8257)
市営住宅使用料	建築住宅課営繕住宅係	(☎02-8287)
墓地管理料	環境課環境係	(☎02-8339)
保育所保育料	こども夢づくり課	(☎02-8265)
公立施設副食費(保育部、幼稚部)	こども夢づくり課	(☎02-8265)
水道料金	総社の水お客様センター	(☎02-8326)
公共下水道使用料	総社の水お客様センター	(☎02-8326)
浄化槽使用料	総社の水お客様センター	(☎02-8326)
農業集落排水処理施設使用料	総社の水お客様センター	(☎02-8326)

- 取り扱いできない納付書
- ・バーコード印刷がないもの
  - ・汚損などでバーコードが読み取れないもの
  - ・納期限を過ぎたもの
  - ・金額を訂正したもの
  - ・1枚当たりの納付金額が30万円を超えるもの
- 利用上の注意
- ・スマートフォン決済アプリの利用方法などについては、各決済アプリ事業者にお問い合わせください
  - ・納付手数料は無料ですが、アプリのダウンロードや利用にかかる通信料は利用者負担です
  - ・領収証書は発行されません。必要な人は金融機関などで納付してください
  - ・納付後の取り消しはできません
  - ・手元に残った納付書を使用して金融機関などで二重納付しないよう気を付けてください